

伊予市	2026年度中	完全移行	2種類のクラブで運営
宝塚市	2026年9月	完全移行	実証事業4団体のうち男子バレーは希望する教員らが地域指導者として指導
川西市	24年度から実施	完全移行	24年度までに88団体を登録。安心して地域クラブに移行できる環境づくりに努めた
三田市	2026年8月	完全移行	部活生向けのスクールバスを8月末から土曜日に3往復運行
猪名川町	2026年4月	完全移行	野球、吹奏楽は全2校が統合。ソフトテニスや陸上は近隣市の生徒も混在

※各自治体の聞き取り調査や発表に基づき作成。25年9月中旬時点。移行前に地域クラブを先行実施している場合もある

(まとめ・久保田麻依子)

が、休日・平日ともに外部団体が運営・指導する「完全移行」となる。すでに全市町で保護者への説明会を実施し、周知に力を入れている。

神戸市は、現行の部活数と同規模の約千団体が「コベカックラブ」に登録。指導を希望する教職員を募る「人材バンク」も設けた。

西宮市は阪神タイガースやヴィッセル神戸などプロスポーツチームと連携協定を結び、練習指導や中古用具の提供などで協力する。

伊丹市は10月から、学校施設を利用する地域団体の公募を始めた。芦屋市はフットボールやラグビーやバレーといった新種目を先行実施している。宝塚市は24年度から実証事業を始め、このうち男子バレーボールは、希望した学校教員が地域指導者として活動している。

地域の広い三田市は、農村部の路線バス休止などで移動手段が制限されている。このため国の実証事業として、8月から土曜日のスクールバス運行を始めた。

猪名川町は来年4月の本格スタートを前に、野球部や吹奏楽部で町内2校の統合が進む。一部の種目は近隣市のクラブに加わる動きもある。

実施済みの川西市は、24年度までに88団体を登録。今年9月に人材バンクを創設し、新たなクラブの立ち上げや見守りに協力できる人を募集している。

◇随時掲載します。



首都圏で暮らす兵庫県出身者らでつくる東京兵庫県人会の「ふるさとひょうごふれあいセミナー」が、東京都内であった。民間の法医学施設「メディカルリサーチ」(東京)代表取締役の圓井順子さんが相続制度や認知症予防について講演した。

圓井さんは兵庫県出身。短期大学を卒業後、いったん就職し、25歳で看護専門学校に入学した。病院の立ち上げなど医師と経営者の橋渡し役を務め、2016年から現職。同施設は、医療過誤や交通事故の後遺障害、労災認定に関する調査のほか、当事者の意思能力

遺言書の重要性について語るメディカルリサーチ代表取締役の圓井順子さん。東京・丸の内甲南大ネットワークキャンパス東京

遺言書の重要性について語る。講演は7日にあり、若年性アルツハイマーの母親を介護した経験から、認知症の手前に当たる軽度認知障害(MCI)段階での対策の重要性を強調。「医師の短い診察では症状が分からないこともある。家族の異変を感じたら、早めに病院へ」と呼びかけた。

また、親の死後に複数の遺言書が出てきた実際のトラブル事例を紹介し、もめるポイントを解説。法定相続分よりも多く遺産を渡したい人がいる場合は、遺言書の付言事項として、「多く与える理由を書いておけば、みんな納得できる」と述べた。

(末永陽子)

に合わせた体験型の旅を提供する「動け、好奇心。」と題したキャンペーンを始めた。エンターテインメント企業や旅行会社に加え、神戸新聞社や京阪神エルマガジン社を含むメディアなど約70社・団体と連携し、地域の魅力を掘りおこして発信する。

JR西の試算では、万博の来場を機に約80万人が西日本各地に足を延ばしたという。終了後も活気を保つため、来春まで集中的にツアーやイベントを企画し、10万人の利用を目指す。

当初はユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)や宝塚

好奇心くすぐる旅いか JR西、万博後のキャンペーン開

兵庫関連では、城崎温泉のカニすき鍋会席など、行き先とランチをサイコロで選ぶ大阪発の旅行商品▽大阪の百貨店で豊岡の老舗かばんメーカー「マスマス」のオーダーメイドを受け付けるプラン▽神戸での没入型体験ゲームなどを販売する。淡路島に移設される万博のパビリオンなどと連携した企画も検討している。

いずれもJR西のアプリ「tabiwa by WESTER (タビワ・バイ・ウェスター)」で販売する。

(大島光貴)

済みて48兆円。23年度の総額の国内総生産(GDP)に対する比率は0・15%減の8・08%だった。総額を年代別に見ると、65歳以上が28兆8806億円で全体の60・1%。1人当たりも65歳以上が79万7200円。

都道府県別で医療費を見ると、東京が5兆217億円、大阪が3兆6965億円が続いた。最少は鳥取の2151億円。兵庫は2兆2119億円だった。

の鑑定などを手がける。

講演は7日にあり、若年性アルツハイマーの母親を介護した経験から、認知症の手前に当たる軽度認知障害(MCI)段階での対策の重要性を強調。「医師の短い診察では症状が分からないこともある。家族の異変を感じたら、早めに病院へ」と呼びかけた。

また、親の死後に複数の遺言書が出てきた実際のトラブル事例を紹介し、もめるポイントを解説。法定相続分よりも多く遺産を渡したい人がいる場合は、遺言書の付言事項として、「多く与える理由を書いておけば、みんな納得できる」と述べた。

(末永陽子)

【知事の動き】

【16日】 庁内打ち合わせ▽10時11道の駅「うずしお竣工式(南あわじ市)

神戸港

三万ト以上

16日【入船】長崎ダイヤモン・プリンセス号5・00四突

巨大船通過

明石海峡

16日【西行き】ナビオス アレグレア号(4万5253ト) 2・30▽マウント アコンカグア号(11万3085ト) 3・00▽グロリオサ リリー号(6万4642ト) 4・05▽ダイセン号(16万875ト) 5・10

【東行き】ベイ ハイ フォン フラング号(4万3551ト) 15・00▽ダイオー アウストラ号(4万8093ト) 16・10▽シールイーチュン号(4万4579ト) 16・25

ホームページ: <https://www.w6kaihommilitgo.jp/osakawan/>